

社会との関わり

伊藤忠商事は地球の視野に立つ「良き企業市民」として果たすべき役割を自覚し、地域社会、国際社会との調和を図り、サプライヤーとのコミュニケーションを深め、豊かな社会の実現に貢献します。

人権の尊重

伊藤忠グループの企業理念である「豊かさを担う責任」の「豊かさ」とは、物質的だけでなく、精神的にも満足している幸福感を意味しています。当社では、Society(社会)の豊かさとともに、Individual(個人)の豊かさを担い、人権と個性を尊重しています。また、「国連グローバル・コンパクト」の基本原則を支持し、従業員に対して労働基本権を保障しています。

また、サプライチェーンにおける人権・労働への配慮は、グローバルに取引を展開する企業にとって重要なCSR課題のひとつです。

伊藤忠商事では、ディビジョンカンパニーごとにサプライヤーの実態調査を行っており、サプライヤーが強制労働・児童労働・非人道的な扱いを行っていないかチェックしています。

http://www.itochu.co.jp/ja/csr/itochu/human_rights/

□ 人権に関する社内教育啓発

サプライチェーンにおけるCSR

グローバルにビジネスを展開する伊藤忠商事にとって、サプライチェーンにおける人権・労働・環境問題に対する配慮は、地球全体のサステナビリティ維持に向けた重要なCSR課題です。

当社の関与するビジネスのサプライチェーンにおいて人権・労働・環境等の問題が起これないように予防し、問題が見つかった場合にはサプライヤーとの対話を通じて改善を目指します。これらのアクションを着実に実践していくため、「伊藤忠商事サプライチェーンCSR行動指針」を定め継続して取り組んでいます。

サプライチェーンにおけるCSR実態調査

伊藤忠商事では、世界各地で取引があるさまざまなサプライヤーの実態を把握するため、サプライチェーンCSR行動指針の9項目を必須調査項目としたうえで、カンパニーごとにそれぞれの商品特性に適した方法で調査しています。

2010年度は伊藤忠商事単体のサプライヤーに加えて海外店及びグループ会社のサプライヤーも対象に広げて調査を実施しました。その結果、海外店のサプライヤー21社、グループ会社のサプライヤー24社を含む374社の調査結果からは直ちに対応を要する深刻な問題は見つかりませんでした。また、調査する社員の理解が進んだことで、よりポイントを押さえた調査が実施され、「継続することにより改善を実感した」との声も聞かれました。

今後も調査を継続し、対話を続けていくことにより、社員の日々のビジネスでの意識向上、またサプライヤーのCSR側面のレベルアップにつなげていくことを目指していきます。

[CSR実態調査実績サプライヤー数]

年度	2008	2009	2010
合計(社数)	261	300	374*

* 海外店のサプライヤー21社、グループ会社のサプライヤー24社を含む

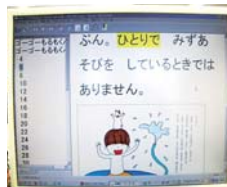
http://www.itochu.co.jp/ja/csr/supply_chain/

- 伊藤忠商事サプライチェーンCSR行動指針
- サプライチェーンにおける実態調査
- チェックリストの例【食料カンパニー】
- 組織別調査実績(2008年度～2010年度)

社会貢献活動

伊藤忠記念財団への支援

伊藤忠商事は、1974年に(財)伊藤忠記念財団を設立し、青少年の健全育成を目的とした社会貢献活動を進めてきました。同財団の現在の活動は、「子ども文庫助成事業」(日本人学校・補習校への図書助成を含む)、「電子図書普及事業」など多岐にわたりますが、時代のニーズに合った新しい事業も検討しています。



電子図書の画面

ボルネオ島での熱帯林再生及び生態系保全活動

創業150周年記念社会貢献プログラムとして、グループ会社とともに2009年度から5年間で2億5千万円を(公財)世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)に寄

付し、WWFがボルネオ島で推進している森林再生及び保全プロジェクトを支援しています。伊藤忠グループの支援対象面積は967ヘクタールで、一般企業の植林活動支援としては最大規模です。

2010年11月には伊藤忠グループ社員による第2回植林体験及び調査を実施、約200本の苗木を植樹しました。2011年6月時点で、約381ヘクタールに苗木が植樹されています。今後も社員の理解を深めるため、植林体験活動を継続していきます。



第2回植林体験の様子

http://www.itochu.co.jp/ja/csr/150_anniversary/borneo/

□ ボルネオ便り

NGO国境なき子どもたち(KnK)

フィリピンでの青少年支援施設サポート

開発途上にある国々のストリートチルドレンや大規模災害の被災児などを支援するNGO国境なき子どもたち(KnK)の活動を支援しています。2009年12月11日、伊藤忠商事の支援により、フィリピンのマニラ郊外に青少年自立支援施設「若者の家」がリニューアルオープンしました。現在、この施設を通し、年間約1,000名の青少年へさまざまな支援が行われています。



施設を利用する子供達

<http://www.itochu.co.jp/ja/csr/social/>

- 社会貢献活動 活動基本方針
- 災害支援義援金寄付
- WFP 国連世界食糧計画への支援
- 伊藤忠野球教室